

<<< フレキシ・スイッチング >>>

この製品にはフレキシ・スイッチ (Flexi-Switch®) 機能が搭載されています。電子リレー方式のトゥールバイパスで、踏み方の違いによって通常のラッチ式のスイッチとしても、モーメンタリースイッチ (アンラッチ式) としても使用可能です。

- ・ ラッチ方式のスイッチとしての使用の場合は、通常のエフェクターのスイッチの様にオンにした時に一回踏み、オフにしたい時にスイッチを再度一回踏み込んでください。
- ・ モーメンタリー方式のスイッチとしての使用の場合は、スイッチを踏み込んでいる間だけエフェクターがオンになり、一度スイッチを放すとオフになります。

電子リレー方式のスイッチを使用しておりますので、電源が供給されなければ入力された信号は出力されません。

<<< 電源 >>>

- ・ 消費電流: 15 mA
- ・ この商品は9~18Vで電流を15mA以上供給する2.1mmのセンターマイナスACアダプターで使用できます。デジージェインやトランス方式でないパワーアダプター等の使用ではノイズが乗る事が有りますので当社では推奨しておりません。また故障の原因になりますので**18Vを超える電源は使用しないでください!**

<<< 製品仕様 >>>

入力インピーダンス: ≈ 5 MOhm
出力インピーダンス: < 25 kOhm

本体サイズ: 12.07cm x 6.35cm x 5.72cm
本体重量: 0.40 kg

<<< 付属品 >>>

取扱説明書×1
保証書×1
安全上のご注意×1

製品の取扱に関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口
営業時間: 月~金曜日 10:00~17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)
TEL: 0570-056-808 (ナビダイヤル) または 053-533-5003
URL: <https://jpyamaha.com/support/>
※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

修理に関するお問い合わせ先

ヤマハ修理ご相談センター
営業時間: 月~金曜日 10:00~17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)
TEL: 0570-012-808 (ナビダイヤル) または 053-460-4830

輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM営業部輸入商品課
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL: 03-5488-5445



www.earthquakerdevices.jp
©2022 EarthQuaker Devices LLC

Special Cranker™



説明書

このたびはアースクエイカーデバイスのスペシャルクランカー、オーバードライブを購入して頂きありがとうございます!ご使用の際はこの説明書を読んで頂けると音決めの際のノブのセッティング等、素早く対応出来ると思いますので是非お読みください。

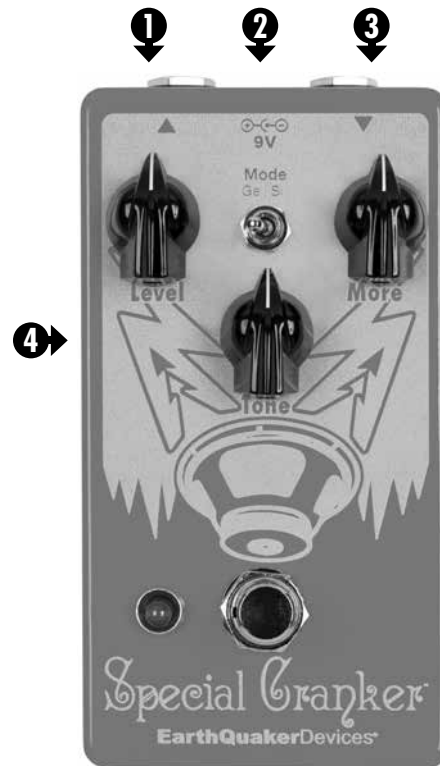
スペシャルクランカーはオールディスクリット回路のアナログの歪で、原音の音のキャラクターを変える事なくさらなる歪みを自然に与え、真空管アンプの特徴を壊す事なくプッシュする事ができます。真空管アンプのプリアンプをもう一つ足した感じをイメージしてください。単音のノート達はこのリッチなハーモクスでさらに太い飽和感とサステインを生み出し、指先やピックの動きにも真空管アンプの様な良いレスポンスが得られます。パワーコードにはより厚みとクランチを加え、ゴリッとしたエッジも若干加わります。スペシャルクランカーは低音が濁ったり、中音域が引っ込んでしまったりとは無縁な、原音に可能な限り忠実な音になる様にデザインされています。

このスペシャルクランカーは当社の廃番ペダルSpeaker Cranker™(スピーカークランカー)がやり残した事から産まれました。このペダルはオリジナルと同じくスポンジでダイナミクスが有り、タッチセンシティブなキャラクターを持ちますが、さらにゲインを増やし出力も2倍まで増幅(そしてみなさんご希望だったボリュームでの出力の調整が可能になりました)、ご希望の音色をさらに追い込めるトーンコントロールも搭載しました。そしてダイオードの選択もスイッチで可能になり、オリジナル同様の非対称のシリコンダイオードとゲルマニウムダイオードから選択できます。

Moreの設定次第でクリーンに近いものから、最大で中位のゲインを得る事ができます。これはバイアスをコントロールして行うものなので、ノブを動かすと若干ノイズが出る場合が有りますが、これは通常起こりうる事なのでご心配なく。歪みの質はどちらのダイオードを選択しているかによって変わります。ゲルマニウムを選択した場合のスペシャルクランカーの歪みは若干柔らかくなり、それにより高域にも丸みが出て出力も低くなります。シリコンを選択した場合は高域が良く効くより現代的な歪みで出力も高くなります。どちらのモードも演奏へのレスポンスがとても良く、音の解像度も非常に良いものになっております。**Tone**は高域の調整として働き、時計回りに回す毎に高音域をブーストさせ、反時計回りで高音域を抑えます。**Level**は出力の設定になり、最大で入力された信号の2倍の出力を得る事ができます。

スペシャルクランカーは1.8Vまでの電源に対応しており、最大の1.8Vでの使用の場合はさらに引き締まった低音ときらびやかなプレゼンス、そして出力も若干上がります。開発者のJamie Stillmanはゲルマニウムモードを1.8Vで使用するのも推奨しておりますのでこちらも是非お試しください。

<<< コントロール >>>



- 1 Level:** 出力の設定。入力された信号と同じ出力にするには10時から12時の方向で設定しますが、選択したダイオードの種類によっても変化します。
- 2 Diode Selector:** 左側がゲルマニウムで柔らかくトランスペアレント、右側がシリコンでより高音が出る現代的な歪みに。
- 3 More:** 歪みの量の設定。トランジスタに与える電圧の調整で、ノブを動かした際にノイズが発生する事が有りますが、回路の特性上のノイズで故障では有りません。ピックアップの出力によってはGainを最大に上げた際に、バイアスを高く設定した様な爆発的な歪みを得る事ができます。
- 4 Tone:** 反時計回りで高音域を抑え、時計回りで高音域を強調します。3時位の方向でフラットな特性に設定できます。